

日本語を母語としない子どもとともに  
JSL 日本語指導教育研究会通信  
(JSL= Japanese as a second language)

令和5年度 第5号

発行者 会長 池田 いくみ  
日本語指導教育研究会 事務局

第5回と第6回研修会は、福岡市教育センター主催の日本語指導担当教員研修と兼ねて行われました。それぞれ、小学校と中学校1名ずつの先生に授業をしていただいた後、協議を行い、講師の先生方にご指導とご助言をいただきました。先生方の工夫された手立てや複数指導での協働学習の良さを見せていただき、多くの学びを得ることができました。

○第5回研修会

- 1 日時 令和5年9月15日(金) 14:00~16:40
  - 2 会場 東箱崎小学校
  - 3 内容 福岡市教育センター主催 日本語指導担当教員研修会 授業研
- 授業者 福岡市立東箱崎小学校 田中奈季先生  
○単元名 第1学年 JSLカリキュラム国語科「うみのかくれんぼ」  
○講師 福岡市立千早小学校 校長 西村 綾子先生
- (1) 講師紹介・研修の進め方確認
  - (2) 授業者自評・質疑
  - (3) 協議
  - (4) 指導・助言



- 体験からスキーマを活性化させることや実物を使うことで子ども達の意欲が上がるだけでなく、考えも深まることがよく分かりとても勉強になりました。
- 日本語レベルの違う小学生3名とも意欲的かつ活発に学習に臨んでいたのが素晴らしいと思いました。「日本語を楽しく学ぶ」がまさに体现された授業でした。
- 西村校長先生のお話がとてもわかりやすく、大変ためになりました。

○第6回研修会

- 1 日時 令和5年10月4日(水) 14:00~16:40
  - 2 会場 城香中学校
  - 3 内容 福岡市教育センター主催 日本語指導担当教員研修会 授業研
- 授業者 福岡市立城香中学校 薄 里美先生  
○テーマ 仏像の対話型鑑賞体験を意味付けし、それを表現することができる  
~協同学習の試み~
- 講師 東京学芸大学 名誉教授 教授 吉谷 武志先生
- (1) 講師紹介・研修の進め方確認
  - (2) 授業者自評・質疑
  - (3) 協議
  - (4) 指導・助言



- 本時までには仏像を触らせたり、対話型鑑賞をさせたりと体験させたり考えさせたりする手立てがたくさんありました。
- 「書きたい、表現したい」という気持ちを引き出す工夫が授業にも単元全体にもちりばめられていて、とても勉強になりました。
- 吉谷先生のお話にもあった学習言語能力を意識して指導していきたいと思いました。